

年月日	18	12	06	ページ	13	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

絶縁トランスユニット

医療現場の感電防止

北川電機 医療用国際規格を取得



安軽減に貢献する。同社は「IEC」規格を取得した医療機器内蔵向けトランスが主力で、外付けのトランス市場には初参入となる。

【立川】北川電機（東京都調布市、北川秀秋社長、042・485・3489）は、3年後に1億円を目指す。医療機器メーカーを中心に提案する。

85・3489）は、医療現場で扱う電子機器に接続することで感電を防止する医療用絶縁トランスユニット「μ（ミュー）シリーズII写真」を発売した。実勢価格は約10万円（消費税抜き）からで、販売目標金額は1

年間3000万円、シリズは電圧が100ボルトと200ボルトの2タイプを用意し、容量は250/600/1000/1200ボルトの全8機種。医療用国際規格「IEC60601-1第3・1版」を取得し、パソコンやモニターなど非医療機器も医療機器と同等の安全性を保てる。

筐体の上部と側面は凹凸のないフラットな表面でホコリが付着しにくい。丸みを持たせたデザインで他社との差別化を図った。清掃の容易さや患者の不